

第6次留寿都村総合計画等の策定に伴う
アンケート調査結果報告書

令和2年1月

留寿都村

目 次

I. アンケート調査の概要

1. 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象及び調査方法	1
(3) 回収結果	2
2. 本報告書の留意事項	2
(1) 本報告書の数字の取り扱いについて	2

II. 青少年アンケート調査の結果

1. 回答者の属性	5
(1) 性別	5
(2) 居住地区	5
2. 調査の結果	6
1. 今の留寿都村のことについて	6
(1) 村への愛着度	6
(2) これからも村に住みたいか	7
(3) 村の魅力	8
(4) 村の不十分なところ	9
2. これからの留寿都村のことについて	10
(1) 今後の村づくりで特に力を入れてほしいところ	10
(2) どのような特色のある村にすべきだと思うか	11
(3) 今後参加してみたい活動	12

I. アンケート調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、第6次留寿都村総合計画（2021年度～2030年度）の策定にあたって、村への愛着度や村の魅力、村の不足しているところをはじめ、一般住民、青少年、小・中・高校生、在住外国人及び村職員の意識やニーズの動向を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

	青少年 アンケート調査
調査対象	村内の15歳から18歳
配布数	45
抽出法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成31年4月

(3) 回収結果

	青少年 アンケート調査
有効回収数	11
有効回収率	24.4%

2. 本報告書の留意事項

(1) 本報告書の数字の取り扱いについて

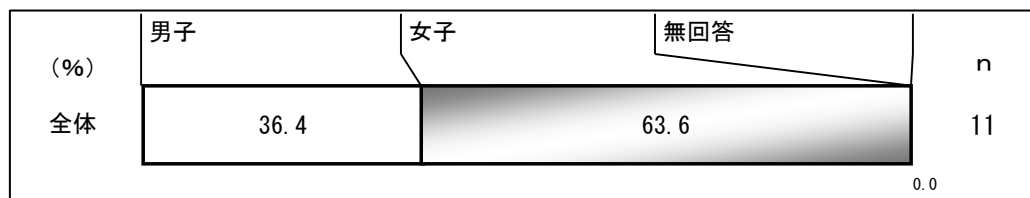
- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 設問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 一般住民アンケート調査結果の問2以降の年齢別の分析について、10代の回答者数が少ない(5人)ため、20代とあわせて「10・20代」として分析しています。

Ⅱ. 青少年アンケート調査の結果

1. 回答者の属性

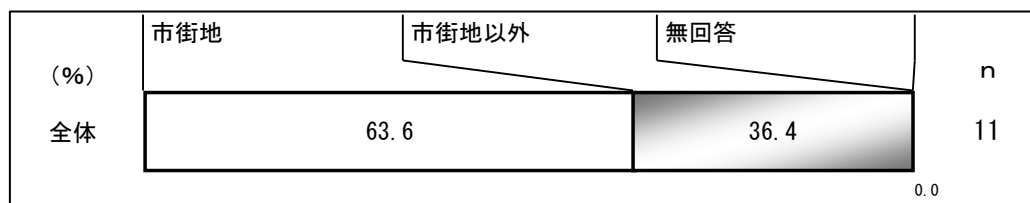
(1) 性別

回答者の性別構成は、「女子」が63.6%、「男子」が36.4%となっています。



(2) 居住地区

回答者の居住地区は、「市街地」(63.6%)、「市街地以外」(36.4%)となっています。



2. 調査の結果

1. 今の留寿都村のことについて

(1) 村への愛着度

問2 あなたは、留寿都村に愛着（好きと思う気持ち、愛する心）をどの程度感じていますか。

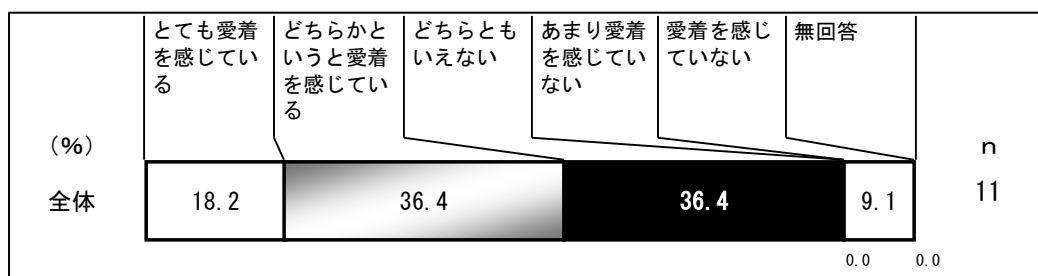
● “愛着を感じている”が54.6%、「愛着を感じていない」が9.1%。

青少年の村に対する愛着度を把握するため、「とても愛着を感じている」、「どちらかというとな愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらかというとな愛着を感じている」が36.4%で最も多く、これと「とても愛着を感じている」(18.2%)を合わせた“愛着を感じている”は54.6%となっています。一方、「愛着を感じていない」は9.1%となっています。なお、「どちらともいえない」は36.4%、「あまり愛着を感じていない」は0%となっています。

【比較】

一般住民アンケート “愛着を感じている”が60.3 “愛着を感じていない”が11.6%。

図表Ⅲ-1 村への愛着度（全体）



(2) これからも村に住みたいか

問3 あなたは、留寿都村に住みたいと思いますか。

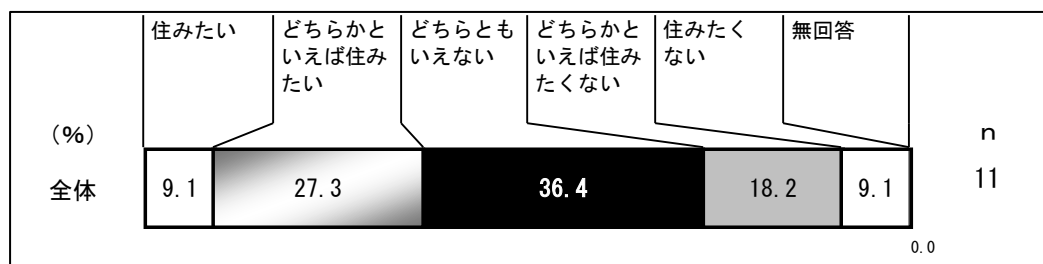
- “住みたい”が36.4%、“住みたくない”が27.3%。

青少年の今後の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない」の中から1つを選んでもらったところ、「どちらともいえない」が36.4%で最も多く、次いで、「どちらかといえば住みたい」(27.3%)が続き、これと「住みたい」(9.1%)を合わせた“住みたい”は36.4%となっています。一方、“住みたくない”(「どちらかといえば住みたくない」(18.2%)と「住みたくない」(9.1%)の合計)は27.3%となっています。

【比較】

一般住民アンケート “住みたい”が52.6%、“住みたくない”が17.1%。

図表Ⅲ-2 これからも村に住みたいか（全体）



(3) 村の魅力

問4 あなたは、留寿都村の魅力はどのようなところだと思いますか。【複数回答】

- 「おいしい農産物・特産品がある」が第1位。次いで「自然や景色が優れている」、「魅力ある観光資源がある」、「保育・子育て環境が整っている」の順。

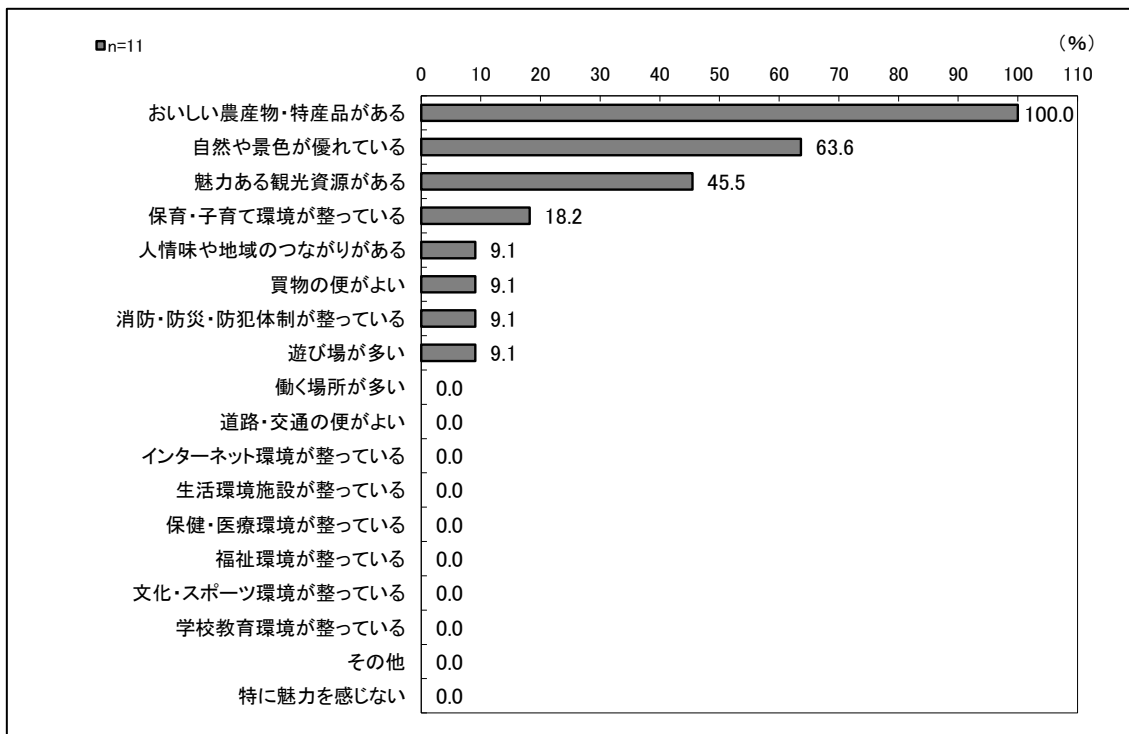
村の魅力についてたずねたところ、「おいしい農産物・特産品がある」(100.0%)が第1位、「自然や景色が優れている」(63.6%)が第2位、「魅力ある観光資源がある」(45.5%)が第3位、「保育・子育て環境が整っている」(18.2%)が第4位となっています。

これらを見ると、豊かな自然をはじめ、公園・緑地の多さ、学校教育環境が整っていることを村の魅力と感じる青少年が多いことがうかがえます。

【比較】

一般住民アンケート 「自然環境・景観が優れている」、「おいしい農産物・特産品がある」、「生活環境施設が整っている」、「人情味や地域の連帯感がある」の順。

図表Ⅲ-3 村の魅力（全体／複数回答）



(4) 村の不十分なところ

問5 あなたは、留寿都村の不十分なところはどのようなところだと思いますか。【複数回答】

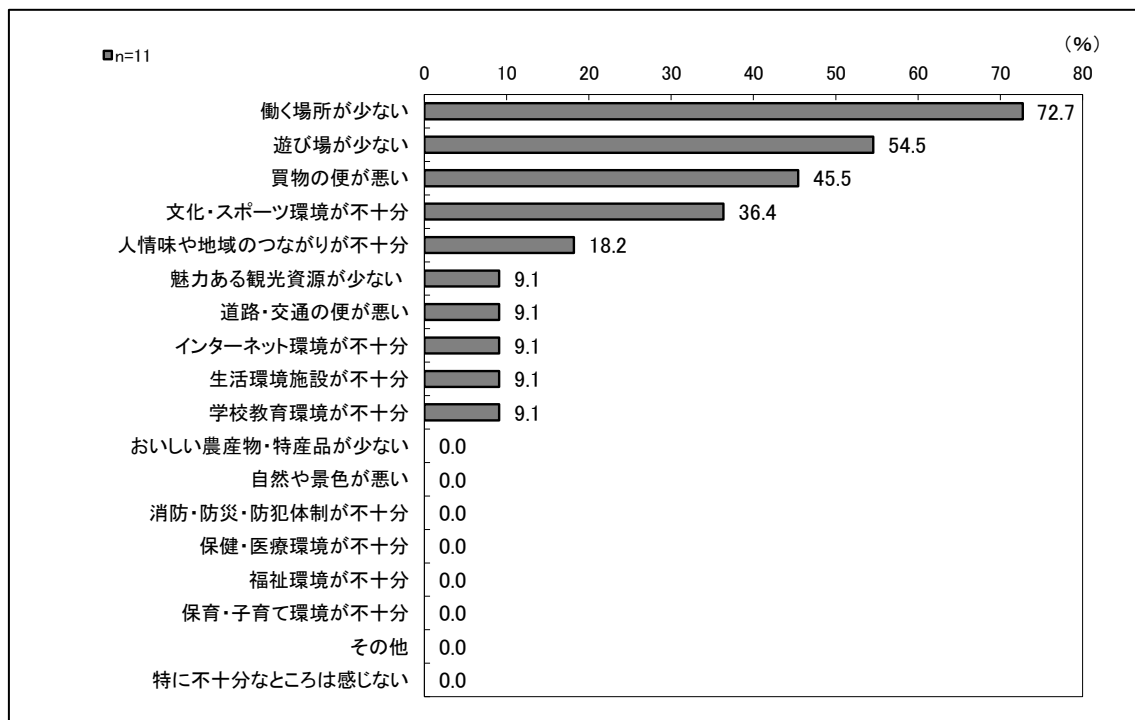
- 「働く場所が少ない」が第1位。次いで、「遊び場が少ない」、「買物の便が悪い」、「文化・スポーツ環境が不十分」の順。

村の不十分なところについてたずねたところ、「働く場所が少ない」(72.7%)が第1位、次いで「遊び場が少ない」(54.5%)が第2位、「買物の便が悪い」(45.5%)が第3位、「文化・スポーツ環境が不十分」(36.4%)が第4位となっています。

【比較】

一般住民アンケート 「買い物便が悪い」、「働く場所が少ない」、「道路・交通の便が悪い」、「行政サービスが不十分」、「人情味や地域の連帯感が不十分」の順。

図表Ⅲ-4 村の不十分なところ（全体／複数回答）



2. これからの留寿都村のことについて

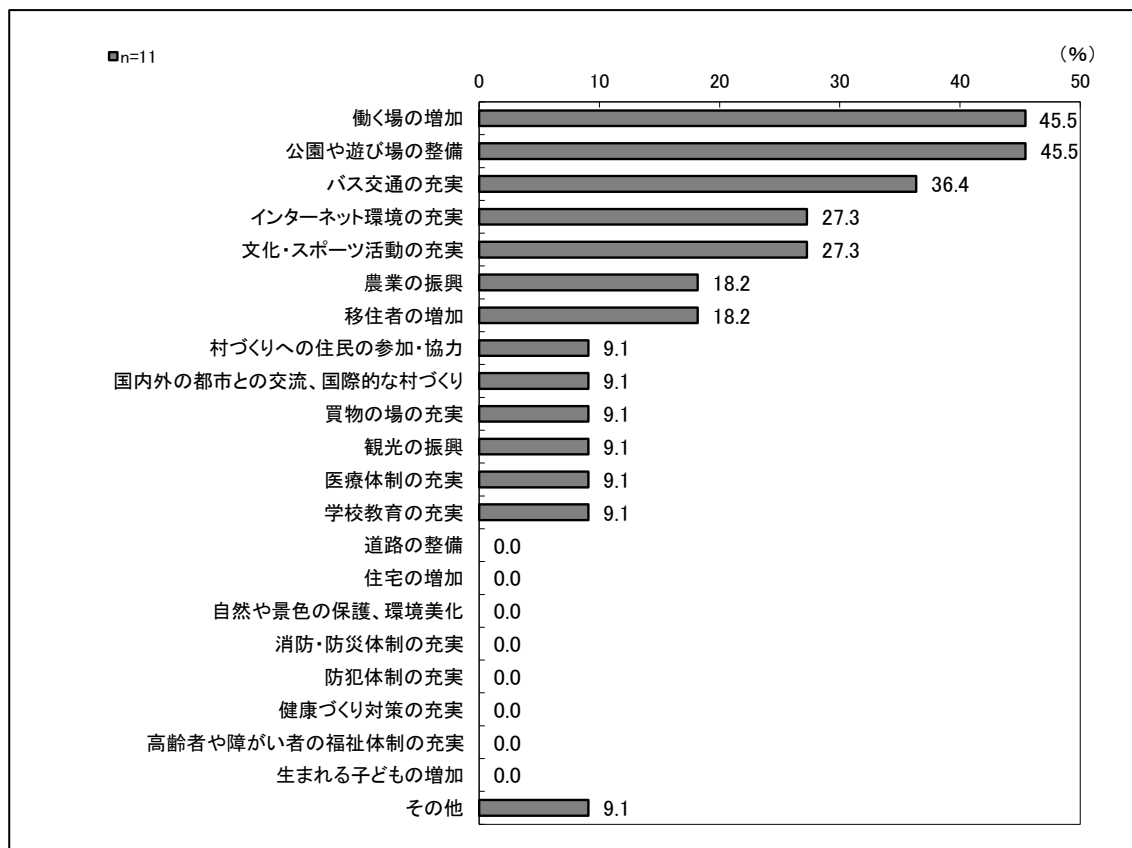
(1) 今後の村づくりで特に力を入れてほしいところ

問6 あなたは、今後の村づくりで、特にどのようなところに力を入れてほしいと思いますか。【複数回答】

- 「働く場の増加」と「公園や遊び場の整備」が同率第1位。

今後の村づくりで特に力を入れてほしいところについてたずねたところ、「働く場の増加」と「公園や遊び場の整備」（同率45.5%）がともに第1位、「バス交通の充実」（36.4%）が第3位、「インターネット環境の充実」と「文化・スポーツ活動の充実」（同率27.3%）がともに第4位となっています。

図表Ⅲ-5 今後の村づくりで特に力を入れてほしいところ（全体／複数回答）



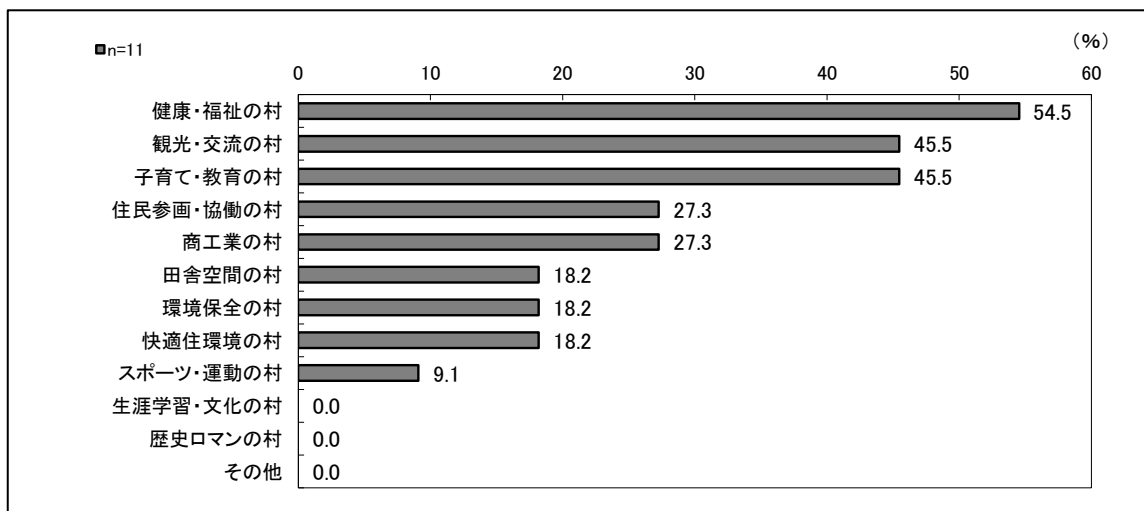
(2) どのような特色のある村にすべきだと思うか

問7 あなたは、今後、留寿都村をどのような特色のある村にすべきだと思いますか。
【複数回答】

- 「健康・福祉の村」が第1位。次いで「観光・交流の村」と「子育て・教育の村」が同率第2位。

どのような特色のある村にすべきだと思うかたずねたところ、「健康・福祉の村」(54.5%)が第1位、「観光・交流の村」と「子育て・教育の村」(同率45.5%)が第2位、「住民参画・協働の村」・「商工業の村」(同率27.3%)がともに第4位となっています。

図表Ⅲ-6 どのような特色のある村にすべきだと思うか（全体／複数回答）



(3) 今後参加してみたい活動

問8 あなたは、次の活動の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。
【複数回答】

- 「身近な地域でのお祭り」と「身近な地域でのスポーツ活動」が同率第1位。

今後参加してみたい活動についてたずねたところ、「身近な地域でのお祭り」と「身近な地域でのスポーツ活動」（同率 27.3%）がともに第1位、「町内会などの地域活動」・「環境美化活動」・「緑化活動」・「都市住民や外国人との交流活動」（同率 18.2%）の4項目が同率第3位となっています。

図表Ⅲ-7 今後参加してみたい活動（全体／複数回答）

